

平成 24 年度 (株) JCN 船橋習志野放送番組審議会 議事録

1. 日時

平成 25 年 3 月 12 日 (火)

2. 場所

サンブランドホテル船橋 15:00～17:00

3. 出席者

<番組審議委員>

会長 伊藤 賢二 (船橋商工会議所会頭)

副会長 海寶 嘉胤 (習志野市社会福祉協議会会長)

委員 井澤 修美 (習志野市企画政策部次長・秘書広報室長)

委員 国松 実枝子 (元千葉県教育委員長)

委員 加藤 健一 (船橋市広報課課長)

委員 西村 由美 (船橋商工会議所事務局長)

<(株) JCN 船橋習志野>

代表取締役 社長 内山 賢治

取締役 放送担当 鈴木 俊一

放送部 次長 清田 裕司

放送部 課長代理 梅澤 幸生

<JCN (株) メディア事業本部>

コミュニティコンテンツ運用部 千葉エリア制作室 室長 日沖 英明

<事務局>

(株) JCN 船橋習志野 放送部 柿嶋 美恵

4. 欠席者

<番組審議委員>

委員 鈴木 とし江 (習志野市民まつり実行委員会事務局次長)

委員 山田 宏 (習志野商工会議所理事事務局長)

敬称略

上記のとおり出席があり、放送番組審議会規定第 4 条の定めに従い、放送番組審議会は有効に成立したので定刻に審議に入った。

5. 議事

(1) 開会の辞

弊社取締役 鈴木より、開会の宣言がなされた。

(2) 会長挨拶

伊藤会長より、挨拶と各委員の自己紹介、議事進行についての説明があった。

(3) 社長挨拶および事業概要説明

弊社社長内山より、新任挨拶と委員各位の日頃の支援に対するお礼の後、弊社事業内容について詳細な説明があった。

(4) 平成 24 年度および平成 25 年度の番組編成について

弊社放送部次長 清田より編成方針について、課長代理 梅澤より船橋習志野局制作番組について、JCNメディア事業本部千葉エリア制作室長 日沖より JCN本部やエリア制作室が制作の広域の番組について、詳細な説明があった。

(5) 質疑・意見交換について

議長である伊藤会長が各委員に諮ったところ、下記のような発言があった。

記

伊藤会長：船橋・習志野両市の市議会放送が始まったが、大変良いことだと思う。ただ、告知については市広報紙、ホームページ、コミュニティチャンネルのインフォメーション等でお知らせしているとのことだが、未だほとんど知られていない。より有効な告知方法を検討するよう望みたい。また、新年度の番組編成では、散策系など他地域の番組を増やすとのことだが、地域情報の提供があくまで主眼であるということの基本にしてほしい。

国松委員：今年の3. 11に防災行政無線から黙とうを合図する放送が流れたが、データ放送のテロップでも直ぐに確認できた。行方不明者の搜索放送もテレビ画面で分かるようになり、良いと思う。4月からデーリーニュースの放送枠が拡大されるとのことだが、放送時間帯の周知にも努めてほしい。多チャンネルサービスでは、「タカラヅカ・スカイ・ステージ」、「クラシカ・ジャパン」がすばらしい。料金も手頃になり嬉しい。

加藤委員：コミュニティチャンネルの番組数も年々増えてきており、新年度の番組編成でも地域情報、行政関連、スポーツ、音楽、その他趣味の番組など視聴者の選択肢は増えている。今後は、これはぜひ見たいと感じさせるような番組作りなど、質と量のバランスがますます求められていくと思う。

西村委員：防災行政無線のデータ放送配信や大型イベントの特番化、生中継など、以前の放送番組審議会で出された課題をかなり改善していただいた。昨年10月から放送が始まった「にっぽんケーブルチャンネル」(地デジ10CH)を含めて、コミュニティチャンネルを今後も見てみようという気になっている。

井澤委員：新年度から市の広報番組「なるほど習志野」は、台本作りの一部をJCN船橋習志野にお願いする予定にしている。お互いに協力してより市民の興味を引く内容にしていきたい。また現在、「習志野テレビ市長室」を放送していただいているが、市の広報番組とは違った形で習志野のPRに役立っている。地域密着を大切にす基本理念を、これからも守ってほしい。

海寶副会長：イベント等で取材スタッフの姿を見かけるが、街の話題をよく拾っているなど感じている。これからは民放にはない、きめ細かな番組作りに努力してほしい。ところで市議会放送だが、現在、習志野市は仮庁舎のため従来の議場と違いアングルが平面的な点が少し残念だ。難しいと思うが、議会放送は市民の行政参加を促すためにも重要であり、何か工夫をしてもらえれば有難い。

伊藤会長：これまでの当審議会の意見に対して、コミュニティチャンネルが変化してきたことを評価したい。最近、「JCNスマートテレビ」という新サービスも始まり、テレビのあり方も変化しようとしている。これからは、こうした変化に対応できるような番組作りを期待している。

内山社長：伊藤会長が言われた「JCNスマートテレビ」という、テレビも見られてインターネットもできる新サービスを開始させていただいている。まさに次世代のテレビサービスであり、その普及を図るとともに、「地域密着」をキーワードに、本日いただいたご意見を参考として、より良い番組作りをしていきたい。

以上

(6) 閉会の辞

以上で議事の全てを終了したので、弊社取締役 鈴木より午後5時閉会の宣言があった。